

# ジオパークだより



## 三陸ジオパーク & 三陸鉄道展 + ジオ鉄展が開催中!

7月25日から釜石市のイオンタウン釜石において、三陸ジオパークと三陸鉄道が共同して、ジオサイトや三陸鉄道の駅舎の写真などのパネル展示をしています。三陸ジオパークを代表するジオサイトのパネルを展示していますので、三陸鉄道に乗って、実際に行ってみてはいかがでしょうか。

展示は11月4日（祝・月）まで。



三陸鉄道沿線の主なジオサイトなどを紹介するパネル(上)



津波災害から復旧した三陸鉄道の駅の写真(上)

同時開催しているジオ鉄展では、三陸鉄道の詳細な地質図を見ることができ、地質の違いがよくわかります。



三陸鉄道の軌道とその付近の地質図(上)

### 「夏休み! 家族で楽しむまちなか遊び」に出展!!

今年も、8月10,11日の両日、イオンタウン釜石でアンモナイトレプリカ作成体験を行い、子供を中心に多くの方がレプリカ作成の体験をしてもらいました。示準化石となっているアンモナイトの化石は、三陸沿岸各地で発見されており、



三陸の大地の成り立ちを解き明かすものとなっています。また、今年は、三陸ジオパークの代表的なジオサイトをVR動画で体験できるブースも設置し、三陸ジオパークの観光の名勝にもなっているジオサイトの魅力や東北地方太平洋沖地震による津波災害のすさまじさをなどを感じていただきました。

## ジオサイトの意見交換会を開催しました!!

8月9日（金）、大船渡市内において、早稲田大学の高木教授等を招き、三陸ジオパークジオサイトの現状や地形・地質遺産等としての価値などについて、市町村の担当職員のみなさんや観光関係者の方々などととも意見交換会を行いました。

意見交換会では、三陸復興国立公園の案内看板と三陸ジオパークの案内看板を双方が調整して立てるよう連携すべきこと、景観を配慮し案内看板の要否を地域の方々と検討することなど、活発な意見交換が行われました。



ジオサイト評価を研究する高木教授

## ジオガイドもできちゃう北限の海女!



うにを片手に笑顔の藤織さん。複雑になった岩礁は、おいしいウニが育つ格好の場所となっています。藤織さんは、「北限の海女」の歴史や文化を伝えるとともに、ジオ初心者の方でも分かりやすいガイドをしてくれます。（町田現地推進員）

「北限の海女」の地である久慈市では、海女の素潜り実演が7月から9月まで行われます。その「北限の海女」の1人である藤織さんは、なんと三陸ジオパークの認定ガイドでもあります。素潜り実演をしているジオサイトの小袖海岸は、柱状節理がキレイに見える夫婦岩があり、波に削られて複雑になった岩礁は、おいしいウニが育つ格好の場所となっています。藤織さんは、「北限の海女」の歴史や文化を伝えるとともに、ジオ初心者の方でも分かりやすいガイドをしてくれます。（町田現地推進員）



噴火して冷えて固まった夫婦岩

## ジオパークを楽しもう! 「ジオのカーニバル開催のお知らせ」



1チーム3人から5人で、宮古の4つのエリアから1つを選び、時間内に三陸ジオパークのクイズに答えたり、写真を撮ったりして得点するゲーム。どのエリアをどのようなルートで回るかチームの作戦がカギとなります。

### ☆参加申込先☆

主催:「三陸ジオパークを楽しむ会」

事務局 宮古市観光課 ジオパーク推進係

⇒ 9月27日(金)までに電話またはファクシミリで申込

電話 0193-68-9091(平日 9:00~17:00)

ファクシミリ 0193-63-9120

⇒ [参加申込書](#) (クリックしてダウンロード)

### ◇持ち物など◇

10月12日(土) 9:00 集合ノースピアみやこ市民交流プラザ  
デジカメ、スマホ、タブレット端末など写真撮影が可能なもの  
参加費は、1人500円。交通費や昼食代は各自負担ください。



### <編集後記>

夏の暑さが遠のき、ひと雨ごとに秋が深まってくることが感じられる今日この頃、みなさんはいかがお過ごしでしょうか。これからの季節はなんといっても、食欲の秋!! 今年も、三陸の海と山の幸はおいしすぎるので、食べ過ぎて体重が増えないよう注意です。(J・J)

### 三陸ジオパーク推進協議会

〒027-0072 宮古市五月町1-20 宮古地区合同庁舎2階

TEL: 0193-64-1230 FAX: 0193-64-1234

E-mail: info@sanriku-geo.com

ホームページ: http://sanriku-geo.com/